

福知山FM放送 第35回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成25年11月26日(火)午後6時～

2. 場所 京都府福知山旭が丘111番地
北関西IITメディアセンター福知山2F セミナールーム

3. 出席状況 総委員数 5名
出席委員数 3名
出席委員の氏名 松田 規 委員
藤田 佳宏 委員
藤原 公子 委員

放送事業者側出席者名

代表取締役 松井喜久夫
局長補佐 水寫孝彦

4. 議 題 1) 福知山FM放送局概況報告
2) 放送番組全般に対するご意見
3) 次回番組審議会の開催日時について
4) その他

5. 議事の概況

- 1) 代表取締役社長 松井喜久夫より、前回審議会以降の概況報告が行われた。
- 2) 各委員より放送番組全般に対する意見が出され、それぞれ代表取締役社長松井喜久夫が答申した。
- 3) 次回番組審議会の開催日時について協議がなされた。
- 4) その他、代表取締役社長松井喜久夫より今後の放送展開についての説明が行われた。

6. 審議の内容

- 1) 福知山FM放送局概況報告
代表取締役社長松井喜久夫より前回審議会以降の概況報告が行われた。

・キャッスル e マガジン 10月号

台風18号をうけ災害特別編として発行。

市内・市外からの多くのボランティアの記事を掲載

各地のコミュニティ放送局から放送協力を頂いた旨を報告した。

・FMしまばらからの玩具・絵本贈呈について

11月22日（金） わかば保育園へ島原市からの玩具・絵本贈呈。

台風18号の福知山被災を受け、姉妹都市の縁でFM丹波とも防災協定を結んでいる「FMしまばら」より、何か協力できないかとの申し出があり、浸水被害により保育園の玩具や絵本が使えなくなってしまった状況を伝えたところ、FMしまばらで島原市民に呼び掛けて頂き多くの玩具・絵本が集まりこのたび贈呈された。

2) 放送番組全般に対するご意見

松田委員長の議事進行のもと、各委員が前回審議会以降の放送番組全般に対する意見を述べた。

出された意見及びその答申は以下の通り

(委員) 今回の台風18号をうけ防災ラジオについて説明する機会があったのだが、携帯のエリアメールがあるからいい、どう違うのかという意見が出たが、どう説明したら良いのか。

(事務局) エリアメールについてそれはそれで有効な手段と思われる。ラジオと比べるとすれば、情報が限られており到達が確かなものではない。情報量が限られているので細かなニュアンスを伝えることができないと思われる。これがあるからこれは要らないというのではなく、いろんな手段で情報伝達を多重化することが必要ではないか。

(委員) 今回の台風で多くの停電が発生し電話が通じなくなった。連絡しようとするのだがお年寄りの家は携帯を持っている人が少ないことが分かった。やはりエリアメールにだけ頼るとするのは無理がある。

(事務局) 情報伝達手段として他の断続的な手段と比べるとラジオは情報量は絶対的に多い。いろんな手段を有効に活用していくべき。ただ、伝えられる情報量が多いが、その元となる情報自体が局に入ってこなければ意味が無い。局にもっと細かな情報が入ってくる仕組みを作る必要がある。

3) 次回番組審議会の開催日時について

松田委員長の議事進行のもと、次回番組審議会の開催日時について協議した結果、平成26年1月28日(火)に決定した。

4) その他

代表取締役社長松井喜久夫より、今後の放送における展開について説明が行われた。松田委員長が閉会にあたっての挨拶を行い、第35回番組審議会を閉会した。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

特になし

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

事務所に備置き 平成26年 1月15日

ホームページに掲載 平成26年 3月 8日

9. その他